

はつらつ座安っ子



【学校だより:令和3年5月 第3号】
豊見城市立座安小学校 校長:具志直哉

なかよく かしこく たくましく

～主体的に他者と協働し、豊かな学び方を身に付け、夢や目標を持って生きる子～

座安小学校の全職員は、子どもたち1人ひとりを認め、受け入れ、持っている「可能性を拓き伸ばす教育」の実践をめざし、全力でがんばります！

座安小の授業が進化します！～子ども達自らが生き生きと学ぶ授業づくり～

「好きこそものの上手なれ」とか「受け身では身に付かない。自分から進んでやらなきゃ」などと【主体的な態度】については、昔からよくその大切さが言われてきました。

学校の授業においても、子ども達の主体的な態度が重要視されています。「教師が教える授業から、子ども達が自ら学んでいく授業へ」「静かに学ぶ授業から、仲間と共に考え、意見を交流し、自分の考えをさらに深めていく授業へ」



もちろん、すべての授業を子どもの主体性だけに依存するわけにはいきません。指導する内容によっては、教師が中心となり、教えていく授業も大切です。しかし、どこに重点を置くかという点、子ども達にとって、**主体的**で、**対話的**で、自分自身の力で**深い学び**につなげていく授業です。これからの教師は、「教え上手」だけでなく「学ばせ上手」でなくてはなりません。子どもを「リード」してだけでなく、子ども達を「ファシリテート」していく力量も必要になってくるわけです。

そんな力量と子ども達が主体的に学んで行く授業を目指して、4月30日(金)に、東京都から著名な授業アドバイザー、西留安雄(にしどめやすお)氏【元校長。多数の書籍あり。詳細は氏のHP <https://www.nishidome-yasuo.net/> をご参照下さい】を本校にお招きし、授業へのアドバイスと講話を通して、授業方法の勉強会を行いました。

まず2校時目に5年3組の授業アドバイスをいただきました。西留氏が入ることで授業に活気が生み出され、子ども達の動きが機敏になり、話し合いが活発になり子ども達の学ぶ意欲が高まってきました。



子ども達は互いのノートを見せ合い、学びあったり、



この〇の中に、話し合った意見をまとめます

ホワイトボードに自分の意見を書き込み、お互いに伝え合い、同じ意見や異なる意見を話し合いを通して、1つの意見にまとめていくなどの活動を行います。

これまでの授業と一番変わっている所は、教師が授業を進めるのではなく、子どもが「学習リーダー」となって教師役を担いながら授業が進んでいくところです。今回はこの子が学習リーダーとして指示を出し、授業を進めてくれました。全員が授業に参加し、全員が活躍している授業となりました。算数が苦手で、いつもは消極的な子がわかろうと懸命に取り組んでいる姿が印象的でした。



放課後は、西留氏を講師に、授業研究会を行



いました。これまでの「どう教えていこうか」に加え、「どう自ら学んでいけるようになるか」への授業スタイルの転換は、教師にとってかなり難しいです。

西留氏は今年度あと2回、本校にアドバイスを来てくれます。来校までの機関の研鑽の充実、来校の際の生のご指導の機会を生かして授業を磨いていきたいと思ひます。

コロナの感染状況が落ち着き次第、授業参観も実施していく計画です。子ども達が生き生きと学んでいる授業の様子を、ぜひご覧頂きたいと思ひます。

*写真が見にくいと思ひます。カラー掲載の本校のHPもご覧下さい。

プールと中庭がきれいになりました！～PTA作業への御礼～

昨年はプール時のコロナ対策が不安でプールの授業は行いませんでしたが、今年度は対策を万全に授業を実施します。そのために、2・4・6年生の保護者の協力を得て、今月8日(土)に清掃作業を行いました。2年分の汚れは相当なもので、大変な作業でしたが、保護者の方々の献身的な働きで、子ども達は気持ちよくプール授業を体験できそうです。本当にありがとうございました。

